



乳幼児教育・保育推進事業 通信 ～令和7年度 発達・子育て支援専門部会～



令和7年7月23日（水）に、令和7年度第1回宇治市乳幼児教育・保育推進協議会 発達・子育て支援専門部会を開催いたしました。
部会の様子をお知らせします。



令和7年度第1回の主な内容

1. 部会員自己紹介
2. 専門部会について
3. 検討
 - (1) 専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について
 - (2) 移行支援シートの記入方法について

専門部会とは



「研究・研修」「保幼小連携」「発達・子育て支援」の推進にあたり、現状の把握、課題抽出、対応策の検討、研究・研修の企画実施等について、乳幼児教育・保育の実務をよく知る職員の意見を反映できる仕組みとするために設置したもの。



○検討

（１）専門職による園訪問支援の実施状況を踏まえた課題の抽出について

- 園訪問支援事業がどのような事業なのかを広く周知する必要がある
- 訪問の種類や、センター職員による定期訪問の回数・時期を整理する必要がある
- 定期訪問から専門職派遣につなげることもあるとのことだが、専門職派遣の手順等を明確にする必要がある
- 他の事業（５歳児健診・障害児保育指導員への相談）との整理を行うとともに、内容に応じた相談先の適切な振り分けを行うことや、窓口を明確にする必要がある

（２）移行支援シートの記入方法について

- 移行支援シートの対象児となるかどうかの線引きは各就学前施設で判断することが妥当である
- 小学校から中学校へのつながりも意識して統一様式を活用していく方がわかりやすい
- 「入学当初予想される姿」は小学校からすると大変参考になり助かっている
- 子どもはその時々で色々な面を見せるため、要録や移行支援シートと異なる姿があっても問題ない
- 引き継いで終わりではなく、小学校と就学前施設との間で、子どもの様子などを尋ねられる関係ができると良い
- 子どもたちのより良い就学のためにも保護者への周知は必要である
- 今年度できるところから始めてみる



宇治市乳幼児教育・保育支援センターとは

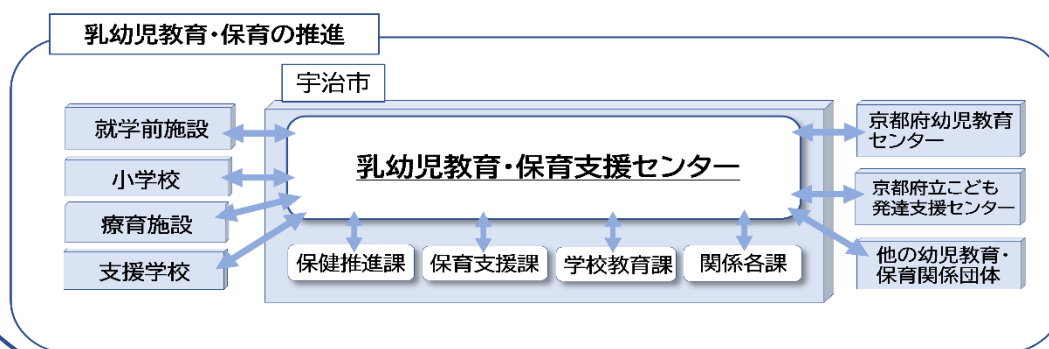
宇治市乳幼児教育・保育支援センターは、全ての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築し、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有するとともに、将来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、次の3つの機能に基づく施策を推進することにより、保育士、教諭等の人材育成を図り、もって乳幼児教育・保育の質の向上に資することを目的として、令和7年4月に開設しました。

<3つの機能>



宇治市では、センターにおいて、就学前施設、小学校、療育施設及びその他の関係機関が連携・協働できるようコーディネートすることにより、施策を推進します。

<連携・協働のイメージ>



宇治市乳幼児教育・保育推進協議会とは

すべての就学前施設が施設類型を越えたネットワークを構築すべく、乳幼児期の子どもたちの状況や課題を共有し、連携、協働して研究・研修を行うことで、教育・保育の質の向上及び人材育成を図るとともに、各施設間、家庭・地域の教育・保育力の確保・向上を支援するため、設置したもの。